

性教育講演会

「自分たちの性を大切に~将来に向かって責任ある行動を~」を聞いて

◆本当に遊びや軽はずみな行動で性的な事をするのはダメだということが改めて分かりました。野村先生の「子どもは親を選べない。」この言葉の通り、親は子どもをつくるなら、育て続けることまで考えなければならない、子どものために。そう思いました。子どもをつくることは本当に簡単な事ではなくて、すっごく重要な大切なことだと思いました。親は一つの命をあずかるという意志をしっかり持って生きていかないといけないと思います。



◆表現が豊かで言葉一つ一つに感情がこもっていたので、聞きやすかったです。今まで野村先生は色々な経験をしてきたことが分かりました。

子どもを産みたいのに、流産をしてしまったり、子どもができなかったりするのに、軽く考えて中絶したり、産んでも虐待したりするのはひどいと思う。赤ちゃんが器具から逃げるというのを聞いて、すごく悲しくなりました。

簡単に子どもを中絶する人には、中絶したくなくても中絶した人、流産してしまった人、子どもがほしくてもできない人の気持ちを知ってもらいたいと改めて思いました。しっかりとした知識をもって間違ったものに惑わされないようにしたいです。

◆命の尊さや子どもをつくることの責任などを痛感しました。特にA子さんの話はドラマのようでした。中学生で母になるなんて、もし自分だったらと考えると、とてもつらいものがあります。自分は男なので、女性の気持ちちはあまりわかりません。母になることの大変さなどは生きている間は体験できません。でもサポートならできると思います。将来子どもをつくるとき、女性の命と子どもの命を背負っていくのだから、男性は女性より覚悟が必要です。そのことをしっかりと心に刻み、これからを生きていきたいです。

◆野村先生の話を聞き、性の大切さがとてもわかりました。印象深かったのが、A子さんが気付かず妊娠していたということです。小中学生で試しに性交したらそのまま妊娠していたという人が多いと知り、やっぱりもっと自分の体を大切にしなあかんねんなと思いました。僕も大人になったら自分のペースで交際せず、相手の気持ち、相手のことを思いやり交際したいです。そして虐待の話を聞き、やっぱりひどいし、もっと手を出さずに解決する方法があったのじゃないかと度々思います。自分の性をしっかり大切に生きたいです。

◆私が今回の話を聞いて感じたことは、「命の重さ・大切さ」です。人の命の重さを考えずに妊娠し、

中絶すると、一生心に重い傷を負っていきていかなければならぬので、赤ちゃんをつくるときには、命をあずかるという責任を持って産まなければならないと思いました。自分の命もみんなの命も大事にしていきたいです。命が誕生することは自分一人だけの問題じゃないし、いろんな人の助けが必要だということが分かりました。「人を愛することができる」それが人の命を守ったり、自分の命を守ったりするのに大切だとわかりました。愛ってすごいなあと思いました。

野村先生の話には子どもを育てられなくて、捨てたり虐待したりしている話がありました。それを聞いて胸が痛かったです。当たり前の日常だと思わず、感謝の気持ちを持って生活していきたいです。

「生れるぞお～」

って生まれてきた大切な命 それがみんなの命



6. 29~30部活動のまとめ★明石市総体★

明石市総体が終りました。暑い中、熱戦を繰り広げていたと聞きました。東播大会へ駒を進めたチームのみなさん、おめでとう。次は明石市の代表として東播大会に参加します。いよいよ今週末ですね。その自覚をしっかりと、残された貴重な練習に取り組みましょう。

また残念ながら市総体をもって部活動を引退するみなさん、お疲れ様でした。2年以上うちこんできた部活動ですから、気持ちを切り替えることはそう簡単ではないでしょう。でもこの日のために2年以上努力に努力を重ねてきたことや、当日精一杯戦って味わった感情は、自分の財産です。そしてこれから的人生の糧として、今後に活かされるべきものです。新たな目標をしっかりと掲げ、今度はそれに向かってひたむきに努力していきましょう。それこそが部活動にうちこんできた値打ちです。

